

芸術工学府芸術工学専攻 コンテンツ・クリエイティブデザインコース

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

○到達目標

修士課程

- ・芸術文化と歴史を深く理解し、それを現代社会に活かす能力を持つ。
- ・ものづくりと情報環境を支える豊かな創造力とともに、表現理論、技術の研究など、芸術・科学・工学にわたる体系的な教育研究を理解し実践する能力を持つ。
- ・当該分野の修了者は以下のような分野において、高次のクリエイター、エンジニア、研究者等としての活動が期待される。

コンテンツデザイン分野（映像、音楽、ゲーム、グラフィックデザイン等）

インダストリアルデザイン分野（情報家電、輸送機器、メカニクスデザイン等）

情報デザイン分野（ネットワーク エンジニア、プログラマー等）

コンテンツ・クリエイティブデザインに関する教育者・研究者

芸術家 等

博士後期課程

○到達目標

- ・芸術文化と歴史を深く理解し、それを現代社会に活かす能力を持つ。
- ・ものづくりと情報環境を支える豊かな創造力とともに、表現理論、技術の研究など、芸術・科学・工学にわたる体系的な教育研究を理解し実践する能力を持つ。
- ・当該分野の修了者は以下のような分野において、高次のクリエイター、エンジニア、研究者等としての活動が期待される。

コンテンツデザイン分野（映像、音楽、ゲーム、グラフィックデザイン等）

インダストリアルデザイン分野（情報家電、輸送機器、メカニクスデザイン等）

情報デザイン分野（ネットワーク エンジニア、プログラマー等）

コンテンツ・クリエイティブデザインに関する教育者・研究者

芸術家 等

- ・当該分野における、より高次のクリエイター、教育者、研究者を目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

●教育プログラム

◇教育課程の履修方法

【修士課程（30単位以上）】

①コース内共通科目：12単位以上

コンテンツ・クリエイティブデザインコースのコース内共通科目として設定されている「コンテンツ・クリエイティブデザイン特別演習Ⅰ及びⅡ」（各4単位）は必修です。

②講座内科目：4単位以上

学生各自の所属講座で開設される授業科目を4単位以上選択履修する。

③他講座科目：6単位以上

学生各自の所属コースにおいて所属講座以外の講座で開設される授業科目から6単位以上選択履修する。

④自由科目：8単位以上

芸術工学専攻修士課程の授業科目（各コースの特別演習Ⅰ及びⅡを除く。）から選択履修する。ただし、研究指導教員が必要と認める場合には、芸術工学府他専攻、他学府及び芸術工学部の授業科目から6単位まで選択履修することができます。

【博士後期課程（10単位以上）】

①修士課程との共通開設科目：4単位以上

芸術工学専攻の修士課程及び博士後期課程の共通科目として設定されている科目（各コースの特別演習Ⅰ及びⅡを除いた科目）から、4単位以上を修得する。なお、修士課程で単位を修得した科目を再度履修することは原則認めない。

②博士後期課程独自開設科目：6単位以上

学生が指導を受ける教員等により、研究指導を主な目的とする当該科目を6単位以上選択履修する。

◇研究指導体制

①入学時に学生毎に指導教員を定め、必要であれば関連分野から副指導教員を定めます。

②修士論文の研究テーマは、入学前に確認したことを中心に、指導教員及び副指導教員の指導のもとに決定します。

③指導教員及び副指導教員は、研究テーマが一連の研究手順に沿って進行していくように指導し、論文作成を指導します。

④指導教員及び副指導教員は、その学生の理解度、進行度等を学期ごとに評価しながら指導するものとします。1年次終了時点（博士後期課程は1年次及び2年次終了時点）で、研究の進捗状況についての中間報告を義務付けます。

◇修了要件、成績評価基準・評価方法等

【修士課程】

ア 修了要件

課程に2年以上在学して、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は作品を提出して、その審査及び最終試験に合格することが必要です。

イ 成績評価基準・評価方法

授業科目の成績は、シラバスに記載された成績評価基準・評価方法により評価されます。

【博士後期課程】

ア 修了要件

課程に3年以上在学して、10単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

イ 成績評価基準・評価方法

授業科目の成績は、シラバスに記載された成績評価基準・評価方法により評価されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

コンテンツ・クリエイティブデザインコースでは、論理的な思考能力と美的感性の涵養を通じて、先導的なメディアテクノロジーの応用および芸術文化の創造に関わる、国際的視野を持った高度なクリエイターや研究者の育成を目指しています。

芸術表現学講座では、芸術文化と歴史を深く理解し、それを現代社会に活かす力を備えた人材を育成します。そのために造形数理、美術、音楽、演劇、言語、文化史、哲学といった幅広い分野を体系的に関連づけながら教育研究を行います。

デジタルコンテンツデザイン講座では、映像、音楽、メディア芸術の作品制作やその表現理論、技術の研究など、芸術・科学・工学にわたる体系的な教育研究を行ないます。

クリエイティブデザイン講座では、ビジュアルデザイン、インダストリアルデザインに関して幅広く実践的な教育・研究を行い、ものづくりと情報環境を支える創造力豊かな人材を育成します。

これらのために本コースでは、創造的意欲にあふれる学生を求めます。